

講義コード	11C0117000	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	欧州経済史 1					平 伊佐雄		第 1 期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	本講義は、前近代と呼ばれる古代や中世の時代を取り上げ、当時に生きた人々の経済活動を解説する。現在の経済活動の仕掛けの全ては、既に中世までにできあがっていたと言っても過言ではない。それらの出来事をヨーロッパの歴史の中から探り出し、その現代的意義を考察することを目的とする。								
到達目標	ヨーロッパ古代や中世の経済活動と現在の経済活動との関係性と連続性を理解できるようになる。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	各回の講義を受講するにあたり、テキストを利用した予習、講義後の復習を各自、授業外学修として4時間（計60時間）行うこと。講義のテキストは、WEB class 上にて配布する。								
授業計画	【第1回】 古典古代ギリシアの歴史から見る経済 【第2回】 ローマ帝国の経済 【第3回】 中世ヨーロッパの農村世界 【第4回】 中世ヨーロッパの商業の始まりと非農業集落の形成 【第5回】 農村と都市 【第6回】 市場開催地としての都市 【第7回】 中世における都市の展開ヨーロッパの経済発展と入植活動 【第8回】 ハンザ商人の世界 【第9回】 ドイツ騎士団とバルト海貿易 【第10回】 中世都市の商人と職人－ハンブルクを例にして－ 【第11回】 イタリア商人の世界 【第12回】 中世都市の手工業者たち 【第13回】 砂糖の生産と交易活動 【第14回】 ポルトガル海洋帝国？の展開 【第15回】 太陽の沈まぬ帝国スペインと植民地支配－価格革命はあったのか－								
成績評価の方法	定期試験と講義期間中のレポートにて評価する。								
フィードバックの内容	講義期間中のレポートについての解題を行う。								
教科書	『経済史への招待』カルロ・マリア・チボッラ（国文社）2001、『西洋経済史学』馬場、小野塚編（東京大学出版会）2001、『概説西洋経済史』荒井、竹岡編（有斐閣）1980、『商業史』石坂 他（有斐閣）1980								
指定図書	『古代ローマ軍団大百科』ゴールズワーシー（東洋書林）2005、『古代から中世へ』ビレンス他（創文社）1975、『中世の商業革命』ロバート・ロベス（法政大学出版局）2007、『ドイツ植民と東欧世界の形成』シャルル・イグネ（彩流社）1997、『近世貿易の誕生』ティールホーフ（知泉書館）2005								
参考書									
教員からのお知らせ	毎回のテーマについて、基本的な事項を記したテキストをWebClass上に掲載しておくので、予めそれらをダウンロード・印刷して講義に望んでもらいたい。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付けます。また、WebClassのメッセージ機能でも受付けます（利用方法はポータルサイト、ライブラリ内のマニュアルを参照）。								
その他									